

畑作技術情報

発行 令和3年6月4日

第2号

たいせつ農業協同組合

営農部 農産販売課

本所 営農センター 57-2357

支所 営農センター 87-4111

赤かび・赤さび病の防除

<赤かび病>

赤かび病は開花時期が最も感染しやすいので、開花状況を確認し開花始めに防除を実施します（図1、表2参照）。

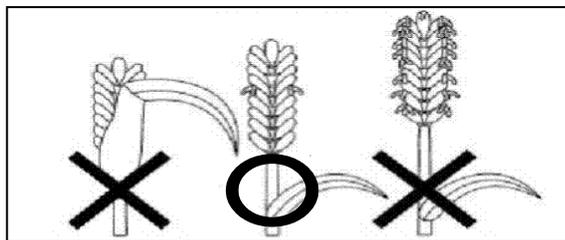


図1 赤かび病防除開花始めのタイミング

<赤さび病>

近年気温の上昇と乾燥が続き、赤さび病の発生が見られます。

止葉抽出期に初期発生を確認した場合はさび病に効果のある殺菌剤を散布します（表3参照）。

表1 赤かび病参考防除歴

	生育ステージ	薬剤名	系統名	病害・希釈倍率	回数
				赤かび病	
1回目	開花始め	シルバキュアFL	DMI	2,000	2
2回目	前回から7日後	ベフトップジンFL	他合成・ ベンゾイミダゾール	1,000	1
3回目*	前回から7日後	シルバキュアFL	DMI	2,000	2

※3回目の防除は春まき小麦の方は実施しましょう。

表2 赤さび病参考防除歴

	生育ステージ	薬剤名	系統名	病害・希釈倍率	回数
				赤さび病	
1回目	さび病確認時 止葉抽出期	アミスター20フロアブル	Qol	3,000	3
2回目	止葉抽出期 ～穂ばらみ期	チルト乳剤25	DMI	2,000	3

秋・春小麦の害虫防除について

<アブラムシ類>

秋まき小麦の出穂期以降は、アブラムシ類の防除時期となります。1穂当たり7～11頭寄生すると減収し品質も低下します。出穂期（6月中旬頃～7月上旬頃）から10～20日後に寄生密度が高まるので、よくほ場を観察し、確認した後に防除をしましょう。

対象害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準
アブラムシ類	トレボン乳剤	2,000倍 (50ml/10a)	収穫14日前まで/2回以内
	スミチオン乳剤	1,000倍 (100ml/10a)	収穫7日前まで/1回
	エルサン乳剤	1,000倍 (100ml/10a)	収穫7日前まで/4回以内

～農作業事故・農薬のドリフトへ細心の注意を払いましょう～